

平成29年度第2回 県・市町村行政懇談会の開催結果について

平成30年1月19日
とっとり元気戦略課

平成30年1月18日(木)に「平成29年度第2回 県・市町村行政懇談会」を開催し、知事と各市町村長等が、連携して取り組む事業について意見交換を行いました。

平成30年度国保事業費納付金等の算定について、市町村長から合意を得ることができました。

- 1 日時 平成30年1月18日(木) 午後1時30分から3時30分まで
- 2 場所 県庁講堂
- 3 出席者 各市町村長、知事、副知事、統轄監、各部局長、教育長 ほか
- 4 議題 (1) 若者の県内定着について
(2) 観光振興について
(3) 国保運営の方針について

5 市町村長からの主な意見

(1) 若者の県内定着について

- ・ 将来ふるさとにUターンしてもらうため、外へ出て行った学生等と地元とのつながりをどうつなげていくのか、県と一緒に考えていきたい。
- ・ 卒業後の進学情報を持っている高校が、卒業生に就職情報を届けるようなことができないか検討してほしい。
- ・ 長期有償型インターンシップを是非やってもらいたい。また、インターンシップに興味のない企業に対するPRをお願いしたい。
- ・ 雇用のミスマッチは単町での解消が難しい。県や圏域で連携して解消していきたい。
- ・ 高校の通学費助成等、市町村の子育て支援策の更なる充実をお願いしたい。

【知事コメント】

- ・ 今後、東部、中部、八頭にも県立ハローワークを設置する予定である。職業マッチングを強化するほか、子のUターンを希望する家族の相談を受けるなど、県としても更なる改善に取り組みたい。
- ・ ふるさと教育が大切。中学生や高校生に、地元企業を紹介するような場をつくらせていただくので御協力いただきたい。
- ・ 新年度、長期有償化インターンシップの事業化やワーキングホリデーの拡充をしていく。
- ・ 子育て施策について、国が制度改正を目指し、鳥取県と市町村がしていることに国が追いついてきた。国の状況をフォローアップしながら、子育て施策の拡充について、改めて相談させていただきたい。

(2) 観光振興について

- ・ 今年は大山開山1300年祭のメインイヤー、一過性のイベントで終わらせるのではなく、次年度以降も残るような取組を行っていきたい。
- ・ 運転手不足等でバス料金が上がっており、ツアーを組んでもらえてないといった声がホテル事業者から寄せられている。バス料金の支援を行うと効果的だと思う。

【知事コメント】

- ・ 大山開山1300年祭を一過性のイベントで終わらせるのではなく、将来につながる取組(食のみやこ発信、観光ルートの開発等)とすることが大切である。

(3) 国保運営の方針について

- ・ 県が、この保険料水準で調整されたことに感謝したい。
- ・ まずは、住民に不安が無いよう問題なく移行することが大切、その上で、課題等は今後検討をしていただければと思う。
- ・ 保険料の上昇を抑えるためにも、健康寿命を延ばす取組が大切である。
- ・ 将来的には、保険料の完全一本化を目指すなど、長期的な視野で国保の安定的な基盤を築くため、議論を早めに始めていくことが必要である。

【知事コメント】

- ・ 国保については、ソフトランディングできそうだ。保険料の統一化、諸制度の問題、医療費抑制等色々と意見があった。今後、国保のあり方について協議を継続していきたい。